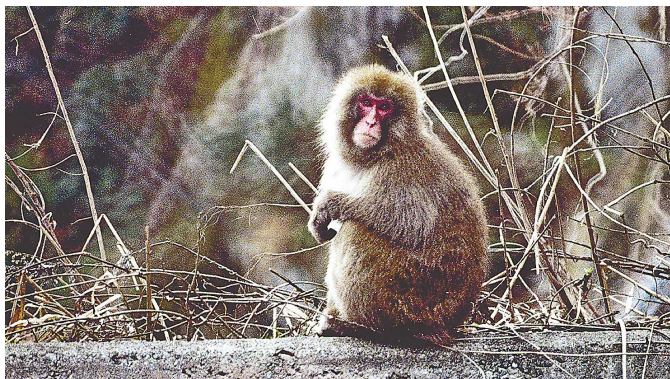


# 自然大好き ねいの里だより

⑧

## 冬のニホンザル



しっぽの短いニホンザル

富山の森には、野生のニホンザルがすんでいます。雪が積もった冬の

# 寒さと戦う短いしっぽ

森で、幸運にもサルに出合ったら、まずはしっぽを観察してみてください

い。なんて短いのでしよう。測ってみると、大

人の大きなサルでも10センチほどの長さしかありません。

大昔、熱帯地方のジャングルで生活していた、ニホンザルの先祖には長いしっぽがあったはず。その熱帯生まれのサルが日本列島に移りすみ、富山のような雪国で生き抜いてきた理由は、寒さに適した体を作ることでできたからでしょう。

手足やしっぽのように体から突き出た部分は、冷たい空気に触れる面積が大きくて、冷えやすいのです。

手足やしっぽが短いサルほど寒い冬を生き抜くことができたというわけ。ニホンザルの短いしっぽは、寒さとの戦いのシンボルなのです。

(赤座久明)